上粕屋・秋山遺跡８区 発掘現場公開

国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所による、一般国道246号：厚木秦野道路建設事業に伴う開発に先立つ埋蔵文化財の発掘調査です。

渋田川流域の秋山一帯にある台地上に立地し、縄文時代後期の調査では、石を多く使用した遺構が発見されています。

住居は、炉～張出部に石が敷かれ、環礫方形配石を伴う住居などが発見されました。住居の前面には配石が群集し、石が立てられた周りなどに平たい石が置かれています。これから発掘調査が進むと石の下と周囲から墓坑が発見される可能性があります。

これまでに発掘調査が終了した周辺の調査区でも、住居や配石が発見されています。その調査成果を繋げることで、縄文時代後期におけるこの秋山の台地には、敷石住居に配石群を伴う集落が、あるまとまりをもって複数存在していた景観が復元できます。

土偶等出土状況（堀之内式期）

双口土器（加曽利Ｂ式期）

おおよその年代　縄文時代後期
35000年前　15000年前　2500年前　1700年前　1300年前　800年前　400年前　150年前
旧石器時代　縄文時代　弥生時代　古墳時代　古 代　中 世　近 世

上粕屋・秋山遺跡８区　発掘現場公開
令和５（2023）年２月２日(木)・３日(金)

主催　公益財団法人かながわ考古学財団
共催　伊勢原市教育委員会